

## ◆新技術定着試験事業

# リボン式採苗法によるヒトエグサ養殖試験

水産業改良普及センター本部駐在 中村勇次

### 1. 目的

ヒトエグサは、県内では北中城や恩納村などで養殖されており、北部の沿岸海域でも小規模で養殖が行われている。ヒトエグサは、モズクと違って供給が需要を上回っていることから販売に関してはあまり問題とならない。これは、天然物の採取や養殖においても天然採苗に頼っていることから、気候の変動等により生産量が安定しないことが原因となっている。北部地区において、新たな手法を使って天然採苗による養殖試験を実施することにした。

### 2. 材料及び方法

ヒトエグサ養殖は、伊江村、羽地地区（屋我地島）、今帰仁村（古宇利島）、本部町、金武町、伊是名島、伊平屋島の北部7地区で営まれている。伊江島、伊是名島、伊平屋島、本部町においては、問題なく採苗が行われているが、羽地地区と今帰仁村では採苗状況が悪いことからリボン式採苗法による養殖試験を実施した。また、本部町では以前からリボン式採苗法による養殖が行われており、同試験において参考にした。

リボン式採苗法とは、採苗網（通常2セット10枚）の下に1枚のリボン網を設置する採苗法である。リボン網とは、通常の養殖用網のすべての節に40cmのビニール紐（白色の縦に裂けるビニール紐：商品名「PP縄#100」）を1回結びで結束し、先端を3つに裂いたものである。北中城において同手法による実証試験が行われており、泥や雑藻対策はもとより良好な採苗効果が得られている。

### 3. 結果

今帰仁村古宇利島では、養殖を実施している1グループの協力の下2年前から養殖試験を実施している。古宇利島は、4年前は非常に種付きが良好であったが、年々種が付かなくなっているとのこと。

11月初旬に今帰仁漁協喜屋武氏とヒトエグサリボン採苗試験について調整した。養殖海域の古宇利島周辺は波浪が強く、2年前にリボン網が絡んで展開に苦勞したことから、昨年はリボン網の長さを短くした（2年前40cm、昨年20cm）。しかし、リボン網が届かない部分があったことから若干長くして25cmで事前にリボン網を作成してもらった。

11月26日に古宇利島にて養殖試験用リボン採苗網の張り出し作業を行った。普及センターから提供した網2セット（10枚）でリボン採苗法1セットと通常採苗法1セットにより比較試験を実施した。それ以外に漁業者自作のリボン網を2セット沖出しし（採苗網を1セットづつ張り出し）、鉄筋を追加で打ち込んだ。雨の中での作業であったためか、古宇利島山頂で工事している古宇利島シェルター建設によると思われる赤土が大量に流出していた。今帰仁漁協へ連絡して写真等の資料を提供したところ、平良組合長から保健所あて通報するとのことであった。

12月28日に今帰仁村古宇利島及び名護市屋我地島においてヒトエグサ養殖状況調査を実施した。今帰仁村古宇利島では、リボン採苗網と通常網の比較試験を実施しており養殖網にヒトエグサの着生は確認できたが芽出しはまだしていなかった。レベルが低くなった所は雑藻（スジアオノリ）が繁茂していたので

網レベルを上げるよう指導した。名護市屋我地島では、一部の網で本張りを行っていた。屋我地でもリボン採苗と通常網の比較試験を実施しているが、リボンの材質にビニール紐を使用すると切れて近くの網に絡んでしまうとのことから、堅めのビニール製紐を使用することになった。リボン採苗網、通常採苗網のどちらもヒトエグサの着生が確認された。

3月15日に今帰仁村古宇利島、名護市屋我地島で、ヒトエグサ養殖指導を実施した。古宇利島では、リボン採苗試験区、通常採苗区ともに今期は芽出しも良く順調にヒトエグサが生育していた。今後、本張りに移行して引き続き比較試験を実施するとのことであった。屋我地島では、1月頃本張りに移行した養殖網からは十分成長したヒトエグサが確認された。十分収穫できそうな程成長していたが、泥汚れが付着しており、収穫後によく洗浄する必要があった。

その後、今帰仁村古宇利島では、養殖を行っていた漁業者が体調を崩したことから収穫は行われず、名護市屋我地では4月以降に数回の収穫が行われた。

#### 4. 考察

今帰仁村古宇利島では、リボン網の採苗効果も得られ波浪でも絡みつかない適切な長さ(25cm)を実証することができた。リボン網による採苗効果があることから、今後は本張りに移行した後の適切な養殖網管理で以前のような良質なヒトエグサの生産に繋げてもらいたい。

羽地地区では、泥汚れが酷いことから、昨年から一部の漁業者でリボン網が使用されたが、今年から使用された堅めのビニール製紐でも同様の効果が見込まれそうなことから、引き続き経過を観察したい。また、羽地内海に面してる漁場であるためか、外海に面した漁場より数ヶ月養殖期間がずれる傾向があり、今後適正な養殖時期と養殖手法でヒトエグサ

の増産に努めてもらいたい。



今帰仁村古宇利島のヒトエグサ養殖漁場



リボン採苗網張り出しの様子



ヒトエグサ養殖漁場へ流入する赤土の様子



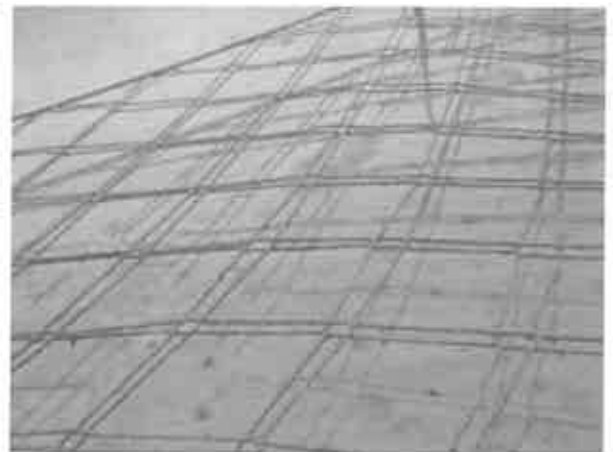
リボン採苗網の様子



固いビニール製リボン網の様子



収穫可能な状態のヒトエグサ養殖網



養殖網に付着した泥等の付着物



名護市屋我地のヒトエグサ養殖場



収穫前のヒトエグサ養殖網の様子